



アプライアンスの設置

- [アプライアンスのインストールワークフロー](#) (1 ページ)
- [アプライアンスを開梱して点検](#) (3 ページ)
- [インストール警告とガイドラインの確認](#) (3 ページ)
- [ラック要件の確認](#) (5 ページ)
- [アプライアンスの接続および電源投入](#) (6 ページ)
- [LEDの確認](#) (6 ページ)

アプライアンスのインストールワークフロー

次の表に、物理的な設置タスクとその実行順序を詳しく説明します。設置する Cisco DNA Center アプライアンスごとに、次の手順を実行します。最初のプライマリノードを設定する前に、必ずすべてのアプライアンスを設置してください。

この表内のすべてのタスクが正常に完了したら、「[アプライアンス設定ワークフロー](#)」の手順に従って続行します。

表 1: Cisco DNA Center アプライアンスの設置タスク

ステップ	説明
1	<p>設定およびセットアップ時に提供する必要がある情報の収集など、導入計画の要件を確認して対処します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco DNA Center および SD-Access について • インターフェイスクーブル接続 • 必要な IP アドレスおよびサブネット • 必要なインターネット URL および FQDN • インターネットへのアクセスを保護する • 必要なネットワーク ポート • 必須の設定情報 • 必要な初期設定情報
2	<p>アプライアンスの機能と仕様を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 機能概要 • 前面パネルと背面パネル • 物理仕様 • 環境仕様 • 電力仕様
3	<p>アプライアンスを開梱します: アプライアンスを開梱して点検</p>
4	<p>アプライアンスに関する操作上の警告とガイドラインを確認します: インストール警告とガイドラインの確認</p>
5	<p>ラックにアプライアンスを設置します: ラック要件の確認</p>
6	<p>アプライアンスに電源を接続し、電源をオンにします: アプライアンスの接続および電源投入</p>
7	<p>前面および背面パネルの LED をチェックして、アプライアンスが機能していることを確認します: LED の確認</p>

アプライアンスを開梱して点検



注意 内部アプライアンスのコンポーネントを取り扱うときは、静電気防止用ストラップを着用し、モジュールのフレームの端のみを持つようにしてください。



ヒント 後でアプライアンスの輸送が必要になったときに備えて、輸送用の箱を保管しておいてください。



(注) シャーシは厳密に検査したうえで出荷されています。輸送中の破損や内容品の不足がある場合には、ただちにカスタマー サービス担当者に連絡してください。

- ステップ1** 段ボール箱からアプライアンスを取り出します。梱包材はすべて保管しておいてください。
- ステップ2** カスタマー サービス担当者から提供された機器リストと梱包品の内容を照合します。すべての品目が揃っていることを確認してください。
- ステップ3** 破損の有無を調べ、内容品の間違いや破損がある場合には、カスタマー サービス担当者に連絡してください。次の情報を用意しておきます。
- 発送元の請求書番号（梱包明細を参照）
 - 破損している装置のモデルとシリアル番号
 - 破損状態の説明
 - 破損による設置への影響

インストール警告とガイドラインの確認



(注) サーバの設置、操作、または保守を行う前に、『[Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco UCS C-Series Servers](#)』を参照して重要な安全情報を確認してください。



警告 安全上の重要な注意事項

この警告マークは「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。各警告の最後に記載されているステートメント番号を基に、装置に付属の安全についての警告を参照してください。

ステートメント 1071



警告 システムの過熱を防ぐため、最大推奨周囲温度の 35°C (95°F) を超えるエリアで操作しないでください。

ステートメント 1047



警告 いつでも装置の電源を切断できるように、プラグおよびソケットにすぐ手が届く状態にしておいてください。

ステートメント 1019



警告 この製品は、設置する建物に短絡（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。保護デバイスの定格 250 V、15 A を超えないようにしてください。ステートメント 1005



警告 装置は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。

ステートメント 1074



警告 この装置は、立ち入りが制限された場所への設置を前提としています。立ち入りが制限された場所とは、特殊な器具、錠と鍵、またはその他の保安手段を使用しないと入れない場所を意味します。

ステートメント 1017



注意 アプライアンスを取り付ける際は、適切なエアフローを確保するために、レールキットを使用する必要があります。レールキットを使用せずに、ユニットを別のユニットの上に物理的に置く、つまり「積み重ねる」と、アプライアンスの上部にある通気口がふさがれ、過熱したり、ファンの回転が速くなったり、電力消費が高くなったりする原因となる可能性があります。アプライアンスをラックに取り付けるときは、これらのレールによりアプライアンス間で必要な最小の間隔が提供されるので、レールキットにアプライアンスをマウントすることを推奨します。レールキットを使用してユニットをマウントする場合は、アプライアンス間の間隔を余分にとる必要はありません。



注意 鉄共振技術を使用する無停電電源装置（UPS）タイプは避けてください。このタイプの UPS は、Cisco UCS などのシステムに使用すると、データトラフィックパターンの変化によって入力電流が大きく変動し、動作が不安定になるおそれがあります。

アプライアンスを設置する際には、次のガイドラインに従ってください。

- アプライアンスを設置する前に、設置場所を検討して準備します。設置場所を計画する際に推奨される作業については、『[Cisco UCS Site Preparation Guide](#)』を参照してください。
- アプライアンスの周囲に、保守作業および適切な通気のための十分なスペースがあることを確認します。このアプライアンスでのエアフローは、前面から背面に流れます。
- 設置場所の空調が、「[環境仕様](#)」に記載された温度要件に適合していることを確認します。
- キャビネットまたはラックが、「[ラック要件の確認](#)」に記載された要件に適合していることを確認します。
- 設置場所の電源が、「[電源仕様](#)」に記載された要件に適合していることを確認します。使用可能な場合は、電源障害に備えて UPS を使用してください。

ラック要件の確認

適切な操作を行うため、アプライアンスを設置するラックは次の要件を満たす必要があります。

- 標準的な 19 インチ (48.3 cm) 幅 4 支柱 EIA ラック (ANSI/EIA-310-D-1992 のセクション 1 に準拠した英国ユニバーサル ピッチに適合するマウント支柱付き)。
- 付属のスライドレールを使用する場合、ラック支柱の穴は、0.38 インチ (9.6 mm) の正方形、0.28 インチ (7.1 mm) の丸形、#12-24 UNC、または #10-32 UNC になります。
- サーバあたりの縦方向の最小ラック スペースは、1 RU、つまり 1.75 インチ (44.45 mm) である必要があります。

アプライアンスの接続および電源投入

この項では、アプライアンスの電源をオンにして、それが機能していることを確認する方法について説明します。

ステップ1 付属の電源コードをアプライアンスの各電源装置に接続してから、接地付き AC 電源出力に接続します。詳細については「[電源仕様](#)」を参照してください。

初回のブートアップ時には、アプライアンスがブートしてスタンバイ電源モードになるまでに約2分かかります。

電源ステータスは、次のように電源ステータス LED で確認できます。

- 消灯：アプライアンスには AC 電力が供給されていません。
- オレンジ：アプライアンスはスタンバイ電源モードです。CIMC と一部のマザーボード機能にだけ電力が供給されています。
- 緑色：アプライアンスはメイン電源モードです。電力は、すべてのアプライアンス コンポーネントに供給されています。

電源ステータス LED などのアプライアンス LED の詳細については、「[前面パネルと背面パネル](#)」を参照してください。

ステップ2 前面パネルの KVM コネクタに接続されている付属の KVM ケーブルを使用して、USB キーボードと VGA モニタをサーバに接続します。または、背面パネルの VGA および USB ポートを使用することもできます。一度に接続できる VGA インターフェイスは1つのみです。

次のタスク

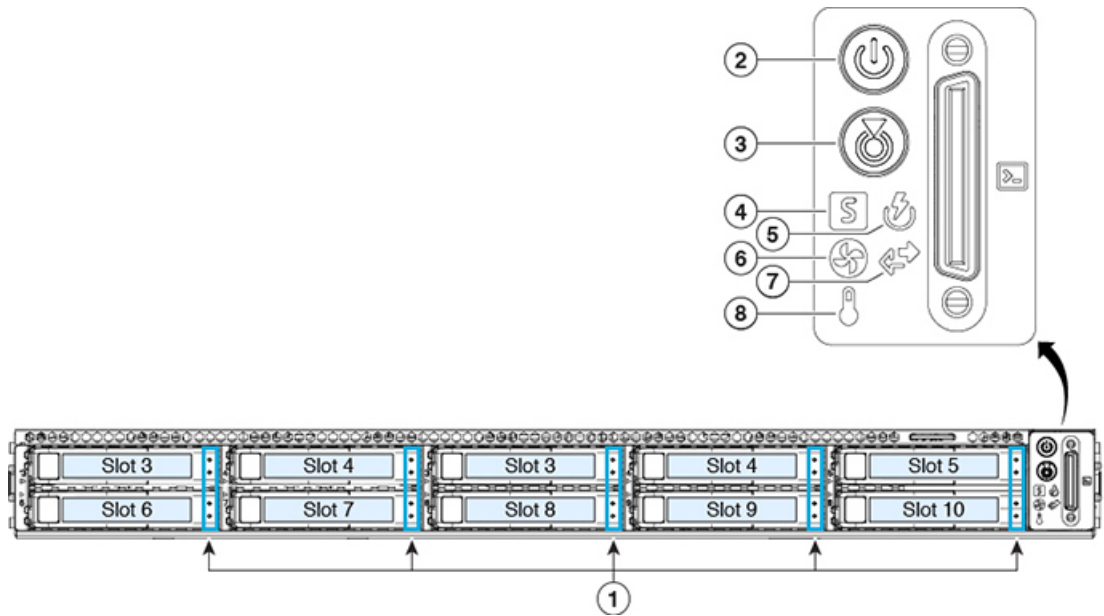
「[LED の確認](#)」で説明されている手順に従って続行します。

LED の確認

アプライアンスの電源を投入したら、前面パネルと背面パネルの LED とボタンの状態をチェックし、機能していることを確認します。

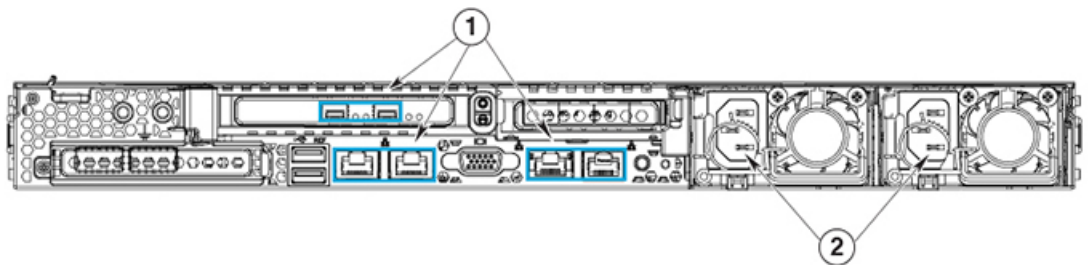
次の図は、物理的な設置と初回の電源投入が終わった後（設定前）動作しているアプライアンスの LED を示しています。

図 1: 前面パネル LED



LED	望ましいステータスインジケータ
1	ドライブ障害 LED : 消灯。 ドライブアクティビティ LED : 緑
2	電源ステータス : 緑
3	ユニット識別 : 消灯
4	システムステータス : 緑
5	電源装置ステータス : 緑
6	ファンステータス : 緑
7	ネットワーク リンク アクティビティ : 消灯
8	温度ステータス : 緑

図 2: 背面パネル LED



LED	望ましいステータスインジケータ
1	<p>最初の電源投入時には、すべてのポートのリンクステータスとリンク速度 LED がオフであり、電源ステータス LED がグリーンになっているはずで す。</p> <p>Maglev 設定ウィザードを使用してネットワーク設定を構成およびテストした 後（「マスタノードの設定」および「アドオンノードの設定」を参照）、 すべてのケーブル接続ポートのリンクステータス、リンク速度、および電源 ステータス LED がグリーンになります。すべてのケーブル接続されていな いポートの LED は変化しません。</p>
2	<p>電源装置障害 LED：オフ</p> <p>AC 電源 LED：緑色</p>

以上に示されていない色の LED が表示される場合は、問題の状態が発生している可能性があります。そのステータスの考えられる原因については、[前面パネルと背面パネル](#)を参照してください。アプライアンスの設定に進む前に、問題の状態を修正してください。